

— 図書館特別資料紹介 —

# 1900 年以前の英独会計・簿記研究 —— Accountancy & book-keeping 全 46 点の購入に寄せて ——

平井 克彦\*

## I 購入した経緯

本学は、経営学部と商学部を併せもち、さらに会計専門職大学院を有する数少ない大学の一つである。本学の会計学担当の教員は 30 名ほどになり、そのスタッフの豊富さを考えると、会計・簿記の資料を充実させることは極めて大切なことといえる。幸い本コレクションは 48 点中、38 点の所蔵がなく、会計・簿記研究の基礎的資料を集める良いチャンスであるため購入していただいたものである。

本資料は、1900 年以前に出版された英独会計・簿記の古書をコレクションの形にまとめたものである。会計・簿記の歴史を考える上で、貴重な文献といえる。

複式簿記についての最初の印刷本は、1494 年に発刊された Luca Pacioli の *Summa de arithmetica, geometria, proportioni et proportionalita* であると言われているが、複式簿記そのものの出現は当然それ以前であろう。わが国においても、帳簿が無かったわけではないが、西洋式簿記が入ってきたのは 1873 年（明治 6 年）である。

MAIR (John) の *Book-Keeping Methodiz'd* を初めとする 48 点のコレクショ

---

\* ひらい・かつひこ／明治大学経営学部教授／会計学

ンは英独の会計史・簿記史上の優れた書物を網羅している。この中には1800年以前に出版されたもの4点（下記の1－4）が含まれている。比較研究にも極めて有用な基本的文献である。なお、1801年から1900年までのものについては主なものを紹介しておくこととする。

## II 資料の概要

### 1. John MAIR 著 : Book-Keeping Methodiz'd

これは、イタリア様式に従った秩序立った商業帳簿の書物である。そこにおいて、簿記手続きの理論が、取引の細かなことすべてにおいて種々の適切な例を用いて説明されている。大きな付録が付いている。I.商人によって用いられた補助簿の記述と資料、II.貨幣と取引、III.商人の記帳の手続き、IV.委員会とその義務と権限、V.イギリスにおける商社の短い歴史、VI.商品取引において生じる難解な言葉や用語を説明している辞書。

MAIR は、1702 年か 1703 年に Fifeshire で生まれた。そして、1726 年か 1726 年に St. Andrews 大学を卒業し、1727 年に Ayr Grammar 学校の教頭になった。そこにおいて彼は算数、簿記、地理学と航海術を教授した。簿記に関する彼の著作は優秀である。Cronhelm は、1818 年に、それを「これまでに発表された古いイタリア様式の簿記書の中で最も完全で優れた説明である」と評価している。MAIR の著作は Adam Smith の蔵書の中の唯一の簿記書となった。

Book-Keeping Methodiz'd の初版は 1736 年に発表された。そして、7 回の版を重ね、1765 年まで Edinburgh Sande 社で出版された。1768 年に、MAIR は彼の著書を全面改訂した。その全訂版が死後の 1773 年に Book-Keeping Methodiz'd というタイトルに改められて出版された。改訂されたテキストの 9 版は 1807 年まで出版された。MAIR の著作はアメリカにおいて良く知られている。当時のビジネスの記録は彼が記述した方法がアメリカにおいて使用されていたことを明らかにしている。

Moderniz'd は George Washington 図書館にある。そして、ボストン学校は『MAIR イタリア式簿記』を教えた 1763 年に広告さえした。MAIR の著作は外国語に翻訳された英語の最初の簿記書である。Methodiz'd の第 6 版は

ノルウェー語に翻訳され、1775 年に出版されたが、ノルウェー語で出版された最初の簿記書である。

## **2. Alexander Malcom 著 : A Treatise of Book-Keeping, or, Merchants Accounts**

ここには借方と貸方というイタリア様式の基本的原則が明瞭に、完全に説明されている。Bywater and Yamey は、「この古典的な著作は異例の、興味深い、独創的な著作である」と述べている。これは 18 世紀の簿記に関する最も重要で独創的の書物の一つである。この著作は MAIR に匹敵するものであり、かなり珍しいものである。

## **3. M. Christian Peschecks 著 : Allen dreyen Haupt-Ständen Nöthige Rechen-Stunden**

ここには、複式簿記のルール並びに利息、割戻し、前払取引、損益、会社簿記、為替手形の割引、割引率等の計算が説明されている。

## **4. Lewis Roberts 著 : The Merchants Map of Commerce**

取引と商品に関する世界的な慣習や方法が十分に取扱いわれている。基準となる通貨と各国の流通通貨の取引が扱われている。世界の著名な都市の度量衡が示されている。世界中の公的機関に従事する人、海外に出かける紳士や世界で交渉に携わる商人や金融業者にとって有益である。付録に [John Marius's] Advice concerning Bills of Exchange が付いている。そこには、外国と国内と、為替手形に関する全ての方法が完全に扱われている。

## **6. Friedrich Bohn 著 : Die Handlungswissenschaft für Handlungslehrlinge und Handlungsdiener ・ ・ ・**

本書は使用人や従業員のためのビジネス書である。取引、地理学、取引の歴史、為替手形、単式簿記・複式簿記を学ばせるためのものである。

## **11. S. A.Felter 著 : The Elements of Book-Keeping for Common Schools**

これは、簿記が公立小学校のシラバスに導入されなければならないとすることがアメリカの当局によって決定された後にテキストの必要を満たすために作られた著作の一つである。

## **18. John Groesbeck 著 : Practical book-keeping, single and double entry**

ビジネス書の形式と説明を含んでいる。この著作のいわゆる「大学版」

は、1875 年に最初に発刊された。著者は、Philadelphia 商科大学校長であった。

**21. Philipp Heiss 著 : Bierbrauerei : mit besonderer Berücksichtigung der Dickmaischbrauerei**

Ferdinand Daempfle による付録は *Praktische Anleitung zur einfachen und doppelten Buchführung für Braugeschäfte* というタイトルで、完全に簿記と会計に関する著書であり、特殊な産業のために書かれる珍しいテキストである。改訂版では付録にビール醸造所のための単式簿記と複式簿記がある。

**28. C. C. MARSH 著 : A Course of practice in single-entry book-keeping**

これは商人、従業員、学校で使用するために作成された簿記書である。一連の商業業務を包含しながら、実務の完全なコースを作るようアレンジされている。アメリカにおける卸売業と小売業に適用される。

**36. Lyman Preston 著 : Preston's treatise on book-keeping**

この簿記書は 2 部からなっている。1 部 : 小売業者、農民、整備士、公立学校での利用に標準を合わせている。2 部 : 特に商業ビジネスに従事しようとする青年の知識のためにアレンジされている。複式記入によって会計を行うことを示している。種々の役に立つ形式やルールを含んでいる。

**38. Siegmund Salomon 著 : Comtoirhandbuch**

これは、一般ドイツ商法典の規定を参考にした、商事会社および銀行のためのイタリア式単式簿記と複式簿記の実務的指導書である。

**41. Ephraim W. Smith and Wilbur Rush Smith 著 : The Text-book on book-keeping and general business education**

これは 1885 年の世界の博覧会において最も高い名誉を受けた簿記書である。多くの取引に関連する商法との関係において、以下の業種の全てに適合する。商業分野、すなわち、卸売業、小売業、個人企業、法人企業、委員会、鉄鋼・鋁業、株式、不動産業、保険、銀行業務、鉄道事業、海運業、農業、林業、公用、など。

**42. W. W. Smith and Edward Martin 著 : Book-keeping by single and double entry**

これは単式簿記と複式簿記に関するもので、公立学校の利用のために単純化され、適合するようにされた。

#### 45. Andreas Wagner 著 : Buchhalterei für das gemeine Leben

これは「日常生活のための簿記」である。これはいつでも財産の真実の状態を知ることができるということを複式簿記の原理に従って述べるための指導書である。

#### 48. Williams and Rogers 著 : Theoretical and practical book-keeping by double and single entry

上記の書名はこの書物の最初を開いたときに見られるものであるが、本の表紙は **Complete Book-Keeping** という書名になっている。この書物はビジネス・カレッジ、公立小学校、ハイスクールとアカデミー、独学のために書かれた簿記書である。